33 01 04 01 05 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月20日（水）

事務事業	ハッピーエンゼル支援事業	担当課	保健センター	担当係	保健指導第一係	管理番号	3353
第２次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画施策分野別名 大項目	200001 健康でいきいきと暮らせるまち（子育て・保健・福祉）	根拠法令個別計画等	深谷市不妊治療費補助金交付要綱 深谷市早期不妊検査・不育症検査費補助金交付要綱				
中項目	200002 健やかで元気に暮らせるまちづくり						
小項目	200001 健康づくりの推進						

事業概要	晩婚化の進展に伴い、年齢を重ねるほど妊娠率が下がり、妊娠・出産に係るリスクが高まる。子どもを望む夫婦に対し早期不妊検査、不育症検査及び不妊治療に係る費用の負担軽減を図ることを目的として事業を実施することにより、少子化社会対策の推進を目指すものである。
目的 ※何のために	経済的負担を理由に不妊検査や不育症検査及び不妊治療をあきらめる夫婦の減少を図るため。
対象 ※誰・何を対象に	妻が４３歳未満で不妊検査・不育症検査を受けた夫婦、および不妊治療のうち体外受精又は顕微授精治療を受けた夫婦。
手段 ※どのように	早期不妊検査・不育症検査費補助金…２万円を限度に検査費を補助。不妊治療費補助金…埼玉県不妊治療費助成事業による助成金額を控除した額の１／２（上限１０万円）を補助。
成果 ※何を求めるか	経済的負担の軽減及び治療機会の増大に繋がる。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
	一般会計	04	衛生費	01	保健衛生費	05	母子保健費	ハッピーエンゼル支援事業	7,639,000
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0

本事業の主な業務	
・ 不妊相談	・
・ 不妊治療費補助金交付	・
・ 早期不妊検査費補助金交付	・
・ 不育症検査費補助金交付	・
・ 男性不妊治療費補助金交付	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画		早期不妊検査費補助事業	不育症検査費補助事業	不妊治療費助成回数拡大 男性不妊治療費を対象 申請期間の拡大			
事業費	予算（現額）	10,500,000	10,500,000	11,200,000	9,500,000	9,400,000	
	決算額	5,968,076	6,338,386	7,639,000	0	0	
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	728,000	1,352,000	1,083,000	2,500,000	1,650,000	
	地方債	0	0	0	0	0	
	他特定財源	0	0	0	0	0	
	一般財源	5,240,076	4,986,386	6,556,000	7,000,000	7,750,000	
人件費	従事職員数（人）	0.28	0.29	0.34	0.17	0.17	
	人件費相当試算 ※１	2,178,120	2,256,780	2,755,700	1,385,160	1,385,160	
		0	0	0	0	0	
（総事業費試算）		8,146,196	8,595,166	10,394,700	10,885,160	10,785,160	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
□	活動指標１	助成事業メニュー数	目標値	事業	0.00	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00	□
			実績値		2.00	3.00	4.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		平成２９年度の実績から目標値を設定							
		助成事業メニュー数									
■	成果指標１	早期不妊検査費助成数	目標値	件							■
			実績値		23.00	32.00	25.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		申請によるため、目標値の設定はできない							
		助成者数									
□	成果指標２	不育症検査費助成数	目標値	件							■
			実績値		0.00	6.00	5.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		申請によるため、目標値の設定はできない							
		助成者数									
■	成果指標３	不妊治療費助成件数	目標値	組							■
			実績値		70.00	71.00	95.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		申請によるため、目標値の設定はできない							
		助成者数									
■	成果指標４	妊娠確認数	目標値	件							■
			実績値		32.00	31.00	33.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		本制度の利用により、妊娠に結びつくとは限らないので目標値の設定はできない							
		治療実施証明書からの確認数									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 男性不妊治療についても、不妊治療費助成のメニューに加え、不妊治療を受ける夫婦の支援ができた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	-	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 不妊検査や不育症検査及び不妊治療を実施した夫婦に検査費や治療費を補助することができ、経済的負担の軽減を図ることができた。また、制度改正により、不妊治療費助成件数は増加した。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	第一係　吉野真弓　第二係長　小井土和美

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	不妊治療を受ける経済的負担を軽減し、治療を受ける機会を増やすため、不妊治療費の補助について埼玉県不妊治療費助成事業の基準に準じて、補助する。また、男性不妊治療に関しても助成する。
達成状況 及び その効果	不妊治療費の補助について埼玉県不妊治療費助成事業の基準等に準じて、制度の拡充を行ったことにより、不妊治療費助成件数は約３割増加した。また、男性不妊治療も助成の対象とした。不妊治療は高額な費用がかかることから子どもを望む夫婦の経済的負担の軽減が図れた。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	ハッピーエンゼル支援事業	担当課	保健センター	担当係	保健指導第一係	管理番号	3353

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

不妊治療や不妊検査等は子どもを望む夫婦にとって、身体的、精神的・経済的に負担が重いことから、経済的な支援が増えたことにより、早期からの治療の機会が増えることになったと考える。

評価者	保健センター所長　野口　加代子

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

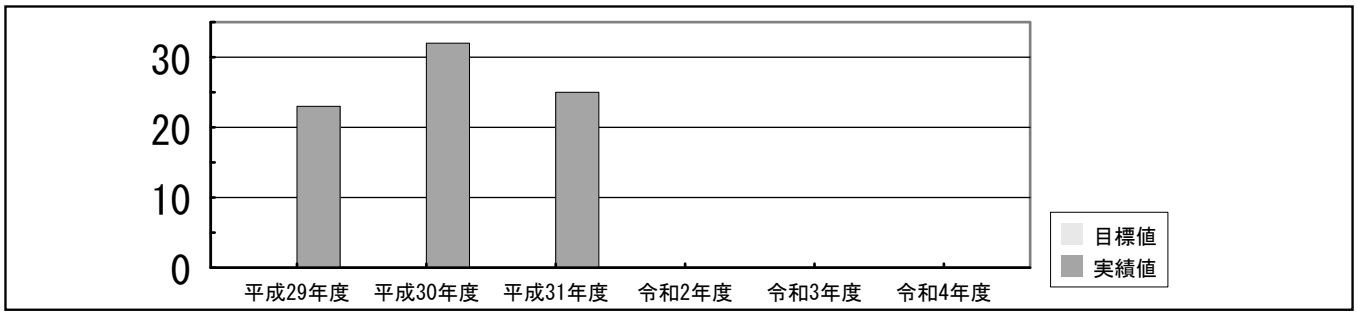
改善・改革案	不妊治療費補助事業などの制度を利用したい方に医療機関等へのチラシの配布や広報等を活用し、周知していく。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

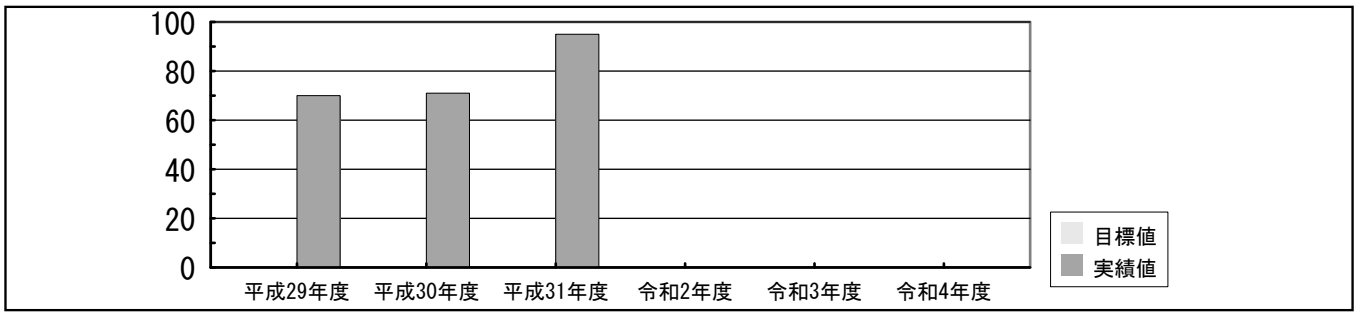
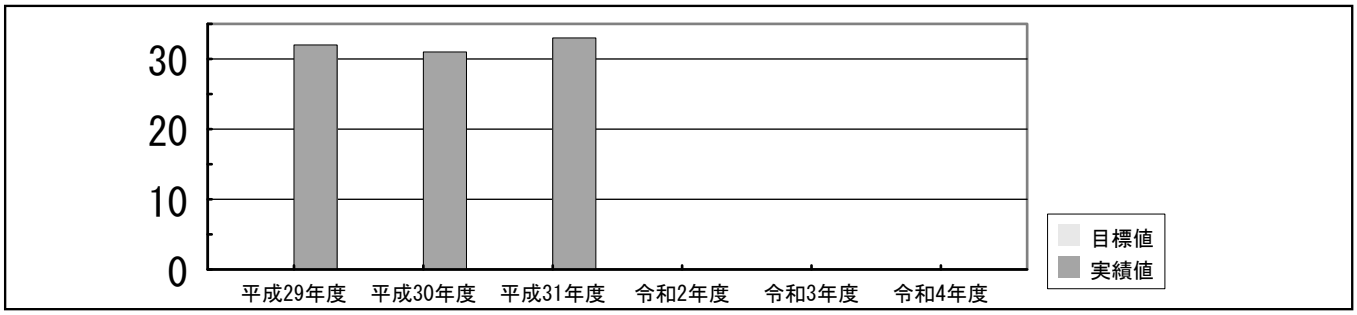
今後の課題	今後も、子どもを望む夫婦の経済的負担の軽減及び治療機会の増加に繋がるよう、国、県からの情報収集を行っていく。

９．評価指標グラフ

区分	成果指標１	指標名	早期不妊検査費助成数



区分	成果指標３	指標名	不妊治療費助成件数



区分	成果指標４	指標名	妊娠確認数